

(4) 教育普及事業

1. 事業の基本的な考え方

展示解説、普及活動等を行う教育普及事業は、調査・収集・整理・保存・展示・研究などの諸活動とともに、文学館活動の中で重要な位置を占める。県民のニーズに対応し、社会教育・学校教育との連携を図るなかで、文学専門の博物館としての特殊性を生かし、年間を通しての文学講座の開催、講演会の開催、文学的に価値ある映画の上映、朗読公演会など、県民や来館者の生涯にわたる学習がより一層進展するように学習支援を行っていく。

また、山梨ゆかりの作家や作品の資料を活用した学習プログラムや子ども向け事業の充実を図ることは、郷土への関心を高め、郷土を愛し、郷土に誇りを持てるような心情を育むという点からも重要であると考えている。子どもから大人までの幅広い県民の文学活動の中心となり、文化の発信拠点を目指す。

2. 教育普及活動の内容

(1) 特設展・企画展関連教育普及事業

企画展「津島佑子展 いのちの声をさかのぼる」、春の特設展「歿後五十年 山本周五郎展」、夏の特設展「作家のデビュー展」に関連して、作家・研究者・関係者による講演会や関連講座を行う。特設展・企画展のテーマを詳しく解説し、展示では扱えなかった視点から考察を加えるとともに特設展・企画展そのものへの理解を深められるように実施した。外部講師及び職員による講演会・講座などを通して文学を学ぶ機会を提供した。

- ①外部講師及び職員による講演会・文学講座事業を実施。
- ②関連映画鑑賞会を実施。
- ③関連ワークショップを実施。
- ④ギャラリートーク（展示解説）を実施。
- ⑤チャレンジクイズを作成。

楽しみながら展示の内容が学べる小中学生対象のクイズを作成。「チャレンジクイズ」を通して、文学や作家について学ぶ機会を提供。

(2) 年間文学講座

年間文学講座は平成2年度から実施している。県民の興味・関心に応じて幅広く学べるよう配慮し、テーマ設定に当たっては講師の専門性を生かすとともに、県民のニーズに対応できるよう、土・日や平日にも開講する。

平成29年度は、外部講師による「古典文学講座（全8回）」と「近代文学講座（全8回）」の2講座と、当館の学芸員が講師を務める「山梨の文学講座（全4回）」を実施した。

講座1のテーマは「甲州地誌『裏見寒話』－甲州の伝説を読む」、講座2のテーマは「教科書に載った児童文学とその作家たち」、講座3は、当館の展示作家を中心に、山梨出身・ゆかりの人物と文学についての講座を実施した。

(3) 名作映画鑑賞会

文学作品を映画化した名作の数々を上映し、文学と映画の関わりについて考え、作品をより深く理解してもらうための企画である。平成2年から毎年実施し、企画展開催期間中には関連映画鑑賞会を実施、また、夏休みには子ども向け映画上映も計画している。平成29年度は一般向け映画4回、子ども向け映画を2回、全6回実施した。

(4) 朗読公演会

作品（詩・小説など）の魅力を朗読公演によって鑑賞する一般向けの企画を1回実施する。これは、開館の年から毎年開催、幅広い年齢の聴衆から大変好評を博している。平成29年度は、華のん企画による「太宰と芙美子～耳で聴く昭和文学～」を10月に実施した。

(5) 文学創作教室

俳句をはじめ短歌や詩、エッセイなどの創作を通じて、文化活動を推進する。小・中・高校生をはじめ広く県民を対象に、文学創作講座を実施する。今年度は、小説家の長野まゆみ氏の講演「子どものころに好きだった本&どうして小説家になろうと思ったか」（一般および高校生対象）と三枝昂之館長と三枝浩樹氏による短歌教室（計5回）を開催した。

(6) 山梨の文学解説講座（出前講座）

この講座は、学芸課の職員が、要請された市町村等に関連のある県出身・ゆかりの文学者と作品を紹介する講座である。当館の研修室・講堂等あるいは市町村施設等において、説明・講義した。

(7) 教師のための学習会

県内の小・中・高校・特別支援学校の教職員を対象に夏の特設展と秋の企画展に関わって、文学館職員による説明と観覧を通して、国語教育への活用を図った。

(8) 児童生徒向け事業について

将来の山梨を担うことになる子どもたちに、山梨ゆかりの文学と文学者について学びきっかけを作る。学校教育との連携をより緊密にして、文学を通して豊かな心を育てていく。

① 文学教室

年間を通じ、随時開催する。小学校、中学校、高等学校の要請に応じ、当館が展示する内容について、当館の研修室・講堂等、あるいは各小中学校、高等学校において、説明・講義する。

② 子ども名作映画会

当館講堂において、夏休み（2回）の期間中に良質の映画の上映を行う。

③ 子どもワークショップ

子どもを対象とした参加型・体験型の教室を開催し、文学を身近に感じ、文学や文学者に興味を持ってもらう機会とする。今年度は、特設展関連事業として「ペーパークイリングで風鈴を飾ろう！～周五郎が描いた江戸の暮らしをイメージして」、また、夏休みのワークショップとして、「デコパージュで「赤毛のアン」を身近に」「大人も楽しい伝統芸能～能の世界を体験しよう～」「レザークラフトでブレスレットを作ってみよう！」を開催した。1月には、「新春ワークショップ百人一首教室」を実施した。

④ 学習ガイド（ジュニアガイドブックと教育普及用資料集）

県出身又はゆかりの文学者、作品について、小中高生の理解を深めるために、文学者、作品についての教育普及資料集を作成している。平成27年は宮沢賢治の、29年度は樋口一葉の教育普及資料を改訂するなど、随時見直しを行っている。

また、常設展示室に展示されている山梨県出身およびゆかりの文学者について、わかりやすく解説したジュニアガイドブックを活用し、子どもたちが文学への興味や関心を持てるようにしている。

⑤ チャレンジ文学館

常設展を見に来た子どもたちが、ポイントをつかんで楽しく観覧できるように、常設展クイズ「わたしはだあれ？」を実施し活用を図っている。また、芸術の森公園内に、俳句や詩、短歌や童謡、小説やエッセイの一節を書いた24本の柱を立て、「文学の柱追跡散歩」としてクイズを実施する。さらに、夏休みスタンプラリーの活用により、夏休み期間中は「夏休みチャレンジ文学館」として子どもたちへの浸透を図った。

⑥ チャレンジクイズ

楽しみながら企画展や特設展の内容が学べる小中学生対象のクイズを作成。「チャレンジクイズ」を通して、文学や作家について学ぶ機会を提供する。

⑦（ジュニア）インターンシップ（就業体験）

子どもたちの職業観・勤労観を、より早い段階から育成するとともに、将来、自らの進路を自分自身で選択できる能力を育てていくことが課題となっている。文学館としても、中・高校・大学生の職場見学や（ジュニア）インターンシップを積極的に受け入れ、若年者の職業意識形成支援に積極的に取り組む。平成29年度は高校生のインターンシップを受け入れた。

⑧ 学習資料・アウトリーチセットの貸与

館作成資料の一部を学習のために貸与する。要請により、学校をはじめ、生涯学習事業等に対して貸与を行う。平成29年度は、「石川啄木セット」を県内小中高校8校に、飯田蛇笏・龍太のちまちな人形セットを8校に、「村岡花子と『赤毛のアン』の世界セット」を5校に、「宮沢賢治～イートハーブの世界・嘉内（かない）との友情物語～セット」を11校にまた、「特設展『作家のデビュー展』関連セット」を8校に貸し出した。

(9) やまなし文学賞について

平成4年4月、山梨県にゆかりの深い樋口一葉の生誕120年を記念して制定された。山梨県の文学振興をはかり、日本文化発展の一助として、小説、研究・評論の2部門が設けられている。平成29年度は小説部門313編、研究・評論部門109編の応募があった。

平成29年度 教育普及事業の実施状況

分類	内容 講師等	開催日・会場等	参加人数
文学講座 1	「甲州地誌『裏見寒話』—甲州の伝説を読む」 講師:長谷川千秋(山梨大学教授)	土曜日 14:00~90分間 講堂	全8回 786人 平均 98人
文学講座 2	「教科書に載った児童文学とその作家たち」 講師:牛山 恵(都留文科大学名誉教授)	木曜日 14:00~90分間 講堂	全8回 933人 平均 117人
文学講座 3	「山梨の文学」 手紙にみる周五郎の心情 講師:保坂雅子(学芸課長) 太宰治 デビューの頃 講師:伊藤夏穂(学芸員) 参加者みんなで「走れメロス」を読む 講師:笠井里香(教育主事) 岳麓地方の俳句—高浜虚子と新蕎麦会の活動— 講師:高室有子(学芸幹)	14:00~70分間 5/21(日) 研修室 8/3(木) 研修室 9/7(木) 研修室 1/25(木) 研修室	全4回 248人 平均 62人
参加者合計			1967人
企画展関連事業	朗読と対談「津島佑子「火の山—山猿記」の世界」 朗読:竹下景子(俳優) 対談:川村 湊(文芸評論家) 石原 燃(劇作家・津島佑子長女) 講演会「津島文学の魅力」 講師:坂上 弘(作家・日本近代文学館理事長) 講演会「ふたつの世界が接するところ」 講師:堀江敏幸(作家・早稲田大学教授) 講座「津島佑子作品の場所をめぐる」 講師:中野和子(当館学芸員) ギャラリートーク 講師:中野和子(当館学芸員)	11/11(日) 講堂 10/14(土) 研修室 11/5(日) 講堂 10/1(日) 研修室 10/1(日) 展示室	413人 65人 140人 70人 50人
参加者合計			738人
特設展関連事業 「作家のデビュー展」	講演会「フィクションの向こう側」 講師:辻村深月(小説家) 聞き手:三枝昂之(当館館長) ギャラリートーク 講師:伊藤夏穂(当館学芸員)	7/30(日) 講堂 8/3(木) 展示室	380人 130人
参加者合計			510人
文学創作教室	一般文学創作教室「子どものころに好きだった本&どうして小説家になろうと思ったか」 講師:長野まゆみ(小説家) 高校生文学創作教室「子どものころに好きだった本&どうして小説家になろうと思ったか」 講師:長野まゆみ(小説家) 「初心者短歌教室」全3回 講師:三枝浩樹 「三枝昂之短歌講座」全1回 講師:三枝昂之 「三枝浩樹短歌講座」全1回 講師:三枝浩樹	7/9(日) 講堂 7/9(日) 講堂 5/13(土) 研修室 6/3(土) 研修室 6/17(土) 研修室 9/9(土) 研修室 12/9(土) 研修室	111人 31人 21人 21人 21人 44人 40人
参加者合計			289人

名作映画鑑賞会	椿三十郎	5 / 14(日) 講堂	240人
	青葉城の鬼	6 / 10(日) 講堂	324人
	アニメ「チリノの鈴」	7 / 29(土) 講堂	80人
	アニメ「火垂るの墓」	8 / 6(日) 講堂	126人
	太陽の季節	9 / 18(月) 講堂	260人
	伊豆の踊子	11 / 20(月) 講堂	224人
	参加者合計		1254人
子どもワークショップ	ペーパークイリングで風鈴を飾ろう！	6 / 4(日) 研修室	21人
	デコパージュで「赤毛のアン」を身近に	7 / 2(日) 茶室	28人
	夏休み自由研究プロジェクト	7 / 17(月) アイメッセ	256人
	大人も楽しい伝統芸能 能	7 / 25(火) 講堂	50人
	レザークラフトでプレスレットを作ってみよう	8 / 5(日) 研修室	33人
	新春ワークショップ百人一首教室	1 / 7(日) 研修室	40人
	参加者合計		428人
チャレンジクイズ	チャレンジ文学館「わたしはだあれ？」		2089人
	文学の柱		175人
	企画展チャレンジクイズ		302人
	特設展チャレンジクイズ		7074人
参加者合計		9640人	
協力会読書会	山本周五郎「あんちゃん」	5 / 7(日)	8人
	太宰治「晩年」	6 / 11(日)	6人
	芥川龍之介「羅生門・鼻」	7 / 9(日)	8人
	夏目漱石「吾輩は猫である」	8 / 6(日)	6人
	やまなし文学賞受賞 大山ちこ「エンディングノート」	9 / 10(日)	10人
	津島佑子「山を走る女」	10 / 8(日)	7人
	三島由紀夫「春の雪」	11 / 12(日)	10人
	辻村深月「ツナグ」	12 / 10(日)	8人
	司馬遼太郎「歴史と視点」	1 / 21(日)	7人
	山田詠美「放課後の音符」	2 / 18(日)	6人
	芥川賞受賞作	3 / 11(日)	7人
	参加者合計		83人
ジュニアインターンシップ (就業体験受け入れ)	高校 3校		10人
	学芸員実習	なし	0人
参加者合計		10人	
山梨の文学解説講座 (講師派遣) (一般・学校)	小学校 6回		小中高特 1498人 一般 138人 全15回 1636人
	中学校 3回		
	高等学校 3回		
	一般 3回		
参加者合計			
文学教室	展示解説		小中高特 1855人
	小学校 10校		一般 392人
	中学校 26校		
	高等学校 14校		
	一般 11回		
参加者合計			全64回 2247人
その他	移動文学館パネル展示		36校 12678人
	やまなし文学賞(小説 313 研究・評論 109)		422人
	やまなし文学賞表彰式	3 / 17(土)	100人
	朗読公演会「太宰と芙美子～耳で聴く昭和文学～」	10 / 28(土)	170人
	外部共催研修	3 回	71人
	各種団体への広報活動	18 回	968人
	参加者合計		14409人

(5) 刊行物の記録

① 山梨県立文学館館報 (A 4版8頁) 寄稿文及び資料翻刻一覧

102号 2017(平成29)年6月10日発行

【寄稿】 混戦時代のチャンピオン芥川の誕生 松本常彦 (九州大学比較社会文化研究院教授)
【資料翻刻】 八木義徳 熊王徳平宛書簡

103号 2017(平成29)年9月10日発行

【寄稿】 津島さんと御坂峠へ 中沢けい (小説家・法政大学教授)
【資料翻刻】 松村英一 鈴木孝宛書簡

104号 2018(平成30)年3月10日発行

【寄稿】 井伏氏本人 出久根達郎 (作家)

② 企画展「津島佑子展 いのちの声をさかのぼる」図録 寄稿一覧

『火の山—山猿記』から聞こえてくるもの	石原 燃
津島佑子さんとの時間	黒井 千次
津島佑子を育んだ家と町の記憶 ～東京文学散歩～	萩原 茂
津島文学の転換点	木村 朗子
津島佑子と中上健次	川村 湊
津島さんとの思い出	坂上 弘
絶望と格闘する津島文学	星野 智幸
だれのものでもない「私」——津島佑子におけるフランス体験の意味	堀江 敏幸
講演録 小説の歌声	津島 佑子

③ 資料と研究 第23輯 平成30年3月31日発行 A 5版130頁

平成29年度企画展・特設展をめぐって

企画展「津島佑子展 いのちの声をさかのぼる」

講演録 津島文学の魅力	坂上 弘
講演録 ふたつの世界が接するところ	堀江 敏幸
「津島佑子展 いのちの声をさかのぼる」展示資料より	中野 和子

特設展「歿後50年 山本周五郎展」

奥脇家旧蔵山本周五郎関係資料 翻刻	保坂 雅子
-------------------	-------

「題詠」と「折々の歌」のはざま—短歌にまつわる今日の問題	三枝 昂之
飯田蛇笏 高室呉龍宛書簡 翻刻 一九三〇(昭和五)年	高室 有子
田中冬二 細川基宛書簡 翻刻	伊藤 夏穂
中村星湖作成スクラップブック⑤その六	飯沼 典子・水上百合子
編集後記	

(6) 閲覧室の運営

① 閲覧室の設置

山梨県立文学館設置及び管理条例と施行規則に基づき、県民・文学館来館者への資料・情報の提供及び調査・研究に対する助言を主な事業として、閲覧室の運営を行っている。

② 閲覧室の利用

ア 利用時間

平日 午前9時～午後7時

土・日・祝日 午前9時～午後6時

※休館日は閉室

イ 利用手続

書庫内の資料を利用する場合は、「閲覧カード発行申込書」に必要事項を記入し、「閲覧カード」の交付を受ける。閲覧を希望する資料名を「文学資料等閲覧承認申請書」に記入し、受付に申し込む。

ウ 利用対象

文学資料などの調査・研究、読書を目的とした利用とする。

③ 閲覧室の業務

ア 所蔵資料の閲覧・情報提供

閲覧室では文学作品・文学研究書を中心とした図書、逐次刊行物、県内外文芸誌、新聞などを収集し、利用に供している（一部禁閲覧資料あり）。

また、画像情報システムにより、特殊資料の芥川龍之介資料、樋口一葉の「たけくらべ」再掲本原稿（複製）、中村星湖「少年行」原稿、山崎方代草稿など、実物の閲覧が困難な資料を、画像で閲覧に供している。

イ 文献検索システムによる書誌情報の提供

所蔵資料（図書、逐次刊行物、特殊資料、マイクロ資料、視聴資料）の書誌情報は、文献検索システムにより、閲覧室内のコンピュータ端末及び当館ホームページから検索できるようになっている。

図書データは通常の書誌情報に加え、内容細目もデータ化し、全集・シリーズに収録されている個々の作品名、作者名からの検索も可能である。

逐次刊行物については、一部のものは所載論文名、作品名、執筆者名からの検索もできる。

ウ 調査・相談業務（レファレンス）

閲覧室に寄せられた調査・相談・照会などの依頼に対しては、文献に基づき、司書、学芸員などが対応している。質問は、電話、文書、FAX、電子メールでも受け付けている。

エ 複写サービス

著作権法に基づき、一部の禁複写資料を除き、所蔵資料の複写サービスを行っている。（有料）

オ 朗読テープ・CDの利用

朗読テープ・CDは文学関係のものを中心に所蔵し、コーナーを設けて利用に供している。

カ 個人研究室・共同研究室の利用

閲覧室内には個人研究室2室、共同研究室2室が併設されており、個人及びグループでの研究・研修などの利用に供している。（有料）

キ ビデオブースの利用

文学館の紹介及び文学資料の情報を多角的に提供するため、閲覧室にビデオブースを併設し、文学関連の映像資料を提供している。

ク 資料紹介

所蔵する資料は、ほとんどが閉架であり、直接来館者の目にふれることは少ない。そこで収蔵されている図書・雑誌の紹介を目的として、テーマを決めて閲覧室内で「資料紹介」を行っている。

ケ 書庫見学

職員が書庫内を案内し、収蔵資料、保管状況などを解説している（年2回開催）。

閲覧室事業実施状況

◆「閲覧室資料紹介」

回	タイトル	展示期間
129	山本周五郎を読む	平成29年4月29日～6月18日
130	山梨に生まれた作家たち	7月15日～8月27日
131	津島佑子の世界	9月22日～11月23日
132	近代文学の挿絵画家たち	平成30年2月10日～4月8日

◆「文学者の誕生日にちなんだ資料紹介」

タイトル	展示期間
土橋 治重 (4 / 25生)	平成29年4月14日～4月27日
太宰 治 (6 / 19生)	6月9日～6月22日
飯田 龍太 (7 / 10生)	6月30日～7月13日
田中 冬二 (10 / 13生)	10月6日～10月19日
深沢 七郎 (1 / 29生)	平成30年1月24日～2月8日
李 良枝 (3 / 15生)	3月9日～3月25日

◆ 書庫見学

実施日	参加者
平成29年6月10日	39名
平成29年11月20日・県民の日	40名



資料紹介「山梨に生まれた作家たち」



書庫見学（平成29年6月10日）